

博士課程教育リーディングプログラム 平成27年度プログラム実施状況報告書

| | | | |
|--------|--------------------------------|----------------|---------|
| 採択年度 | 平成24年度 | | |
| 申請大学名 | 京都大学 | 申請大学長名 | 山 極 壽 一 |
| 申請類型 | 複合領域型（生命健康） | プログラム責任者名 | 上 本 伸 二 |
| 整理番号 | I 0 1 | プログラムコーディネーター名 | 福 山 秀 直 |
| プログラム名 | 充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム | | |

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラムでは、高齢化社会が抱える問題を俯瞰し、Ⅰ.工学技術を医療・支援システムへ適用し、Ⅱ.医学の中に蓄えられた知識を工学に活用するという2方向から、具体的な解決法を創案し、充実した健康長寿社会の構築に向け推進することの出来る「総合医療開発リーダー」を、異分野の研究者を組み合わせた産学横断的な教育プログラムにおいて組織的に育成することを目的とする。これらの目的を達成するため、大学本部が総力をあげて運営に関与し、多部署の教員・研究員が協同して効率的に教育・研究指導・人材育成に参画する体制を整備する。さらに、これまでの縦割りの医工学の教育を見直し、医学・工学・薬学・理学・経済学等の専門家が協力し、研究科の枠を超え真に融合した医工学教育を実現するよう大学の改革を推進する。

2. プログラムの進捗状況

平成27年度は新規履修者8名(内、3名が外国人留学生)が加わり、全履修者数は26名となった。また、L2履修生に研究基礎力審査 Qualifying Examination(QE)を実施し、履修者8名が合格した。以下、交付申請書記載の項目ごとに実施した。①「第29回日本医学会総会」、および「World Health Summit Regional Meeting」において、医工連携教育と研究に関するシンポジウムと特別展示を開催し、本プログラムの活動を国内外に発信した。②本プログラムの実施専用スペース(講義・特定教員・履修生居室、および事務室)を完備するとともに、医学および薬学研究科4年制大学院生の履修に対応したカリキュラムを整備した。特定教員と履修生全員が各自の進捗状況について英語で報告するコロキウムを実施した。③優秀な学生のプレリサーチ・特別研究を支援する研究活動経費を支給した。④医療・介護現場での実習を含む「医療・生活支援システム学」の開講、「医療工学特別講義Ⅰ、Ⅱ」での国内企業・組織への訪問を実施し、履修生の知見を深めた。⑤グローバルリーダーとしての資質涵養のため、9名の履修生を、9ヶ国で開催された国際会議に派遣した。3つの国際会議で本プログラムでの活動と優れた研究成果を発表し、複数の論文発表、および特許出願を達成した。⑥特別実習を含む「人体解剖学」等の必修科目、外国人教員による「英語 debate」、連携企業等の外部有識者15名を講師とする「医療工学特別講義Ⅰ、Ⅱ」、医学部附属病院他での実習を行う「学際応用科目」を開講し、延べ 36名が受講した。⑦履修生のインターンシップ・マッチングシステムへの登録を完了し、学外・海外の組織との情報交換を行った。⑧ 本プログラムのホームページの改編と、本学で実施している5つのリーディングプログラムによる「合同ワークショップ」を開催した。また、海外でも継続して本プログラムの広報活動を行った(ベトナムホーチミン市国際大学、他)。

(機関名：京都大学 類型(領域)：複合領域型(生命健康) プログラム名称：充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム)